



# 名古屋いのちの電話



写真 文 珠 幹 夫

白  
い  
芽

武  
鹿  
悦  
子

使い忘れて

ダンボール箱の底に残っていたじゃがいも  
干からびてお婆さんの握り拳のようになり  
皺のあいだに三つ、四つ、  
つぶとまるい

白い芽を覗かせている

湿り気もなく

季節の温度も伝わってこない箱の中で  
ゆっくりと自分の時計に合わせて

芽をふいたじゃがいも

自分自身を養分にして伝える

じゃがいもの命

このようにして伝えられてきたのだ、命は  
そのようにして伝えられていくのだ、命は

「いま、きみに いのちの詩を」

(小学館)より



## 「いのちの電話」と写真で関わって

文 珠 幹 夫

私の記憶に間違いがなければ、機関誌の第2号から表紙の写真を担当させていただいている。何時も不出来な写真で汗顔の至りである。恐らく50枚くらいの写真を皆様に見ていただいたと思う。このような下手くそな写真を採用していただいた編集部の皆さんには感謝の言葉もない。

私が「名古屋いのちの電話」に写真を寄稿するきっかけとなったのは、山口真人先生を始め創設に関わられた方々に日頃からお世話になっていたことによる。また、既に鬼籍に入られたが、相馬信夫司教さんとも思わぬところで関わりがあったことにもよる。

80年代半ば、杖中に事務所を構えられ、電話1台から始められたのではなかったろうか。当時、日本では自殺防止・予防や悩み事を聞くと言った環境は未整備であった。社会には偏見があり、多くの人が悩みを自己の内に抱きかかえ苦しんでいた状況があったと思う。そんな中で、電話相談を始められたときには大変なご苦労があったと思う。立ち上げた方々、相談員のトレーニングをさ

れた先生方には頭が下がる。トレーニングを受け相談員になられた方々も、電話で悩みなどを受けられるのは大変であったろうと、想像に難くない。



No27.1993.11月号

私は、挫折感を味わいストレスをためている20歳前後の人と向き合って仕事をしていた。時々、先生方から個人的にアドバイスをいただいたこともあった。私自身、大変良い勉強をさせていただいたと感謝している。

榮の「みこころセンタービル」に移られてしばらくした頃だったと思う。写真を届けに伺ったと



No19.1991.2月号



No29.1994.6月号

き、事務所に緊張が走った。「これから死ぬ」と言う電話が掛かってきた。電話相談をされている方、事務局スタッフの皆さんが、各関係機関への連絡などてきばきと様々な対応を取られ、未然にそれを防がれた。私は何も出来ず、ただ皆さんの邪魔にならぬように座っているだけであった。何もお役に立てない自分が恥ずかしかった。

電話相談だけでなく、資金集めにも苦勞されていた。福祉法人の資格を取るため、高額な基金集めに事務方の皆さんが奔走されていた。今ならNPO法案が出来たため、さほど苦勞することなく法人格がとれる。当時は大変であった。バブルがはじけた後、どの企業も人も財布の紐が堅くなった。バブルで浮かれていた頃、日本中で「企業の社会的貢献、社会的責任」などと高邁なことを言っていたが、はじけた後、その“理念”の底の浅さを露呈してしまった。その一方で、「名古



No30.1994.11月号

屋いのちの電話」を始め各地の「いのちの電話」が何ら変わることなく電話相談を続けられていることに頭が下がる。

いつも表紙を飾る詩を事前に送っていただいている。詩を読むことなど、以前にはあまりなかった。写真を担当させていただいたおかげで、随分と詩を読ませていただいた。大変勉強にもなった。詩は書店でも図書館でも冷遇されている。その詩を書かれた詩人の詩集を探しに図書館に行っても見つからないことが多かった。日本の中で詩を読む習慣がなくなっていることは寂しいことだと思う。詩は心の糧の一つだと思う。



No44.1999.6月号

「名古屋いのちの電話」と関わるようになったのと同じ頃から、私は東ティモール問題と関わっている。つい先日の5月20日に（ポルトガル植民地からの）独立を果たした。ご存知の方も多いと思うが、1975年独立過程にあったとき、隣国インドネシアが軍事侵略した。24年間も苛酷なインドネシア軍支配下に置かれた。多くの方が殺されたり、拷問やレイプの被害にあった。この国の人々の心の傷には深いものがある。この新しい国にも「いのちの電話」が出来ることを願っている。その時は是非とも皆さん方のご協力を仰ぎたいと思う。

## 2001年度 事業報告

2001年度も愛知のちの電話協会の電話相談活動に、多くの方々から、かわらぬご支援とご協力を賜りました。賛助会員、賛助法人、並びに寄付者（個人及び団体）に心より感謝申し上げます。また一年を通じて、一日の休みもなくご奉仕頂きました相談員の方々のご苦勞に、あらためて敬意と謝辞を申し上げます。

この年、当協会は開局17年目を迎え、組織の見直しということで、これまでの総務、訓練、財務の3委員会を、養成、相談、広報、財務の4委員会に改組しました。さらに公募による新事務局長の採用、組織運営規定の制定と実施、ベルの会世話人会による会長の選挙による選出といった新体制が始まりました。多くの相談員の意見を反映させたいという要望がこの一年を通して見られました。

そうした中、21世紀の幕開きは、国内外とも波乱の年で、世相は経済の落ち込み、政治への不信などから、自殺者は3年連続で3万人を越えました。厚生労働省による自殺予防のフリーダイヤル・キャンペーンは12月1日から7日までの一週間、全国48センターで一斉に行われました。総勢3,208人の相談員が9,347件の電話を受けて、そのうち自殺志向による電話相談が32.4%あったことは驚くべき率でした。

「広報委員会」では、ミニ・コンサートとして、「加藤訓音・津軽三味線」「リポー・馬頭琴」コンサートを企画、好評をもって終了。ことに後者は、アンコール公演も企画されました。恒例の東別院での「フリーマーケット」も8年目を迎えました。

「相談委員会」では継続研修16グループが延べ160回実施し、2,080人が参加しました。個人SVが121回、242人。グループSVが31回、186人。ピアSV2回、35人、そのほか自主研修、ケース研究などです。

「養成講座」第12期生認定者29名。第13期生の募集要項ができ、2002年2月から募集が始まりました。開講は2002年4月より実施。

理事、監事、評議員の改選に伴い、以下の方々に就任頂きました。

名誉会長	豊田壽子	社会福祉法人とよたの里名誉理事			
理事長	長岡利貞	前椛山女学園大学教授			
理事	岡部快圓	大須観音齋生院貫主			
理事	笠原 嘉	名古屋大学名誉教授・桜クリニック院長			
理事	木本精之助	元名古屋YMCA 総主事			
理事	鈴木郁雄	ユニー(株) 取締役			
理事	豊田彬子	(財)豊田市国際交流協会理事長			
理事	野村純一	カトリック名古屋教区司教			
監事	内河恵一	内河・雑賀法律事務所・弁護士			
監事	小山 勇	中日新聞社取締役相談役			
評議員	安藤和彦	榎本 和	梶原 壽	兼田智彦	菊島正夫
	常富佳子	長井 潤	長岡利貞	長瀬治之	西沢信正
	浜下訓子	K・ハンフリーズ	馬上貴美子	水谷 颯	矢満田篤二

(2002年5月27日現在)

# 2001年度 会計報告

現在、日本の経済はきわめて厳しい状況にあります。政府の借金、国債、公債の負担が大きくて、かつて経済大国といわれた国が国際的にも“警戒心”をもって見守られているというのが実状です。リストラとか失業率5.4%という数字にもあらわれ、それがまた「名古屋いのちの電話」の財政にも大きな影を落としています。そうしたことを背景に、財務委員会の報告をいたします。

## 【2001年度決算】

別表にありますように、収入の部では助成金、会費、寄付金が柱になっています。助成金は共同募金会からの70万円。会費は合計713万円、賛助会費(A)134万円、(B)74万円、(C)58万円に法人会費440万円。寄付は年末募金を含め487万円、その他受取利息は35万円、相談員・友の会会費20万円といったところが、主な収入の内訳です。

当期収入の合計は13,333,446円となり、前期繰越金583万円を合わせて収入合計は19,169,029円でした。助成金の拡大も重要な課題となっています。

支出の部では、事業費として教育訓練費200万円、広報費59万円、連盟分担金29万円が主なものです。

管理費としての、人件費530万円が飛び抜けて大きな比率を占めています。それは事務局長の給与、パートで事務をして下さる方に支払われる額で、人件費にどう対応するかも大きな課題となっています。

このほか、家賃250万円、共益費16万円、車庫賃貸料44万円がかかりました。文具印刷費67万円、消耗品費39万円、雑費58万円と多額の支出がありました。これら3項目の中心は印刷費でした。特に昨年度は様々な活動があったためでしたが、相談員を支援し、教育訓練の支出は積極的にしなければなりません。

次期繰越金は430万円とかなりな額となりましたが、これは2000年度の郵便貯金の満期解約に伴うものであり、次年度の収入見込みの減少予想をいたしますと、安心できるものではありません。

## 【2002年度予算】

収入では全体に控えめに、合計は16,910,807円といたしました。特に受取利息は現在の銀行普通預金の利息がほとんどないに等しく、一億円の法人基金の預金に対して、2万円とみえています。今年度始まった第13期養成講座の受講料265万円と前期繰越金434万円を加えて上記の額となっています。極めて厳しい数字です。

支出でみますと教育訓練費が、今年度は養成講座がありますので当然ながら支出は大きく340万円となります。人件費は500万円に押さえました。その他の管理費としては、文具印刷費、雑費、消耗品費も減額して、予備費を除いて約62万円の減少となります。

去る5月22日に開かれました評議員会での討議で、文具印刷費、消耗品費、雑費など内容別に分けるべきとの意見が出され、教育訓練のための印刷代と、事務管理のものと明確に区別して計上することにしました。

今後さらに、支出面での切りつめに努力をしなければならない状況は、予備費つまり繰越金が、わずかに160万円であることからもおわかりいただけることと思います。

## 【財務委員会の活動】

厳しい経済情勢を考え、財務状況を明確に把握するために、今年3月から原則として毎月第3金曜日に財務懇談会を開いております。最近の懇談会では二つのことを決めました。

一つは車庫代の削減です。年間44万円かかります。相談員の方々には大変ご迷惑をかけることとなりますが、6月から車庫の賃貸を解消いたしました。もう一つは、基金の運用についてであります。一億円を銀行に定期預金にしましたが、低金利の上、ペイオフ問題があり、3月末に普通預金に切り替えました。これも一千万円を超える預金の保証は一年間の余裕しかありません。そこで愛知県債の10年ものと5年もの(名古屋市債になるかもしれません)に分けて購入することにしました。金利はいずれも1.47%で、年間利息が140万円入ることとなります。これは理事会で承認されました。

こうしたことで、いくらかでも財務事情が好転することを願っていますが、先に書いたように会員を増やすこと、企業に理解を求め、助成金の新規開拓が急務です。

皆さま方のご理解とご協力をお願いいたします。

(財務委員長：西沢信正)

## 2001 年度収支計算書

単位：円

科 目	決 算 額
(貸方) 収入の部	
助成金	700,000
賛助会費 (A)	1,340,000
賛助会費 (B)	741,000
賛助会費 (C)	585,000
会費 (個人)	60,000
会費 (法人)	4,410,000
相談員・友の会会費	201,000
寄付 (個人)	2,187,300
寄付金 (法人)	1,669,412
年末募金	1,014,410
講座受講料	-
受取利息	355,266
雑収入	70,058
当期収入合計 (A)	13,333,446
前期繰越	5,835,583
収入合計 (B)	19,169,029

科 目	決 算 額
(借方) 支出の部	
事業費	
教育訓練費	2,000,585
広報費	595,403
連盟分担金	297,000
諸会費	20,000
(事業費合計)	(2,912,988)
管理費	
人件費	5,382,400
需用費	
家賃	2,520,000
共益費	163,800
車庫賃借料	441,000
光熱水道費	671,986
通信費	697,119
法定福利費	13,269
賃借料	115,920
旅費・交通費	95,260
文具印刷費	672,457
営繕費	166,330
消耗品費	393,528
雑費	582,165
(管理費合計)	(11,915,234)
当期支出合計 (C)	14,828,222
当期収支差額 (A) - (C)	1,494,776
次期繰越収支差額 (B) - (C)	4,340,807
支出合計	19,169,029

## 2002 年度予算

単位：円

科 目	予 算 額
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
会費	5,500,000
寄付金	2,500,000
年末募金	1,000,000
講座受講料	2,650,000
受取利息	20,000
雑収入	50,000
前期繰越	4,340,807
収入合計	16,910,807

科 目	予 算 額
(借方) 支出の部	
事業費	
教育訓練費	3,410,000
広報費	600,000
調査研究費	10,000
会議費	25,000
特別事業費	25,000
連盟分担金	300,000
諸会費	20,000
(事業費合計)	(4,390,000)
管理費	
人件費	5,000,000
需用費	
家賃	2,520,000
共益費	163,800
車庫賃借料	441,000
光熱水道費	500,000
通信費	600,000
法定福利費	15,000
賃借料	115,920
旅費・交通費	100,000
文具印刷費	500,000
営繕費	150,000
消耗品費	500,000
雑費	300,000
予備費	1,615,087
(管理費合計)	(12,520,807)
次期繰越	0
支出合計	16,910,807

## 統計数字から見た最近の相談の傾向

相談の総件数（無言電話を除く）は、1996年以前は大体年間1万件前後（最高は1988年の12,872件）でしたが、1997年以降は1万件を大幅に超える年が続き、とくに1999年からは1万5千件以上となっています。1999年に統計の仕方を少し変えた関係があるかもしれませんが、増加の傾向は顕著です。

男女別では、15年間ずっと男性の方が多かったのですが、1998年に逆転して女性の方が多くなる傾向になりました。とくに「人生」「家族」「対人関係」などの項目で、女性の相談件数が急速に増えています。

年齢別では、ここ数年50歳以上の年配者の相談が多くなり、とくに60歳以上の高齢者は、2001/1997年の比較では4倍近くになっています。この年代は元々相談件数が少なかったのですが、ここ数年の伸びが顕著に（年率40%）なっている現象は、見すごすことができません。高齢者に辛い世の中というのは、社会全体としても不幸なことです。逆に中学高校生の相談件数は減少しています。その代わりに、30歳代が2001/1997で1.8倍になっています。生活の苦勞が積もり重なっている、と思われます。

相談の内容別では、毎年のトップは「医療問題」で、2001年は全体の26.3%を占め、第二位を2倍以上引き離してダントツです。1997年以降、全体の件数を押し上げている主たる要因も、医療の相談の急増です。これは、現在国会で論議されている医療制度の改悪が現実化すれば、さらに増加するものと予想されます。

内容別の順位を第一位から第五位までを挙げると、1997年は医療、性、人生、家族、男女、の順でしたが、2001年は医療、人生、家族、対人関係、性、となります。中でも増加がとくに顕著なのは「対人関係」と「家族」で、それぞれ2倍以上に増え、逆に「性」は14%も減っています。それだけ相談の内容が、切実なものになってきている、とすることができます。

それを、年齢別・内容別というふう掘り下げて分析してみると、その傾向はさらにドラスティックになります。すなわち、2001/1997で「医療」の相談は70歳代がなんと11.3倍（その大部分が女性からの相談）、60歳代が6.7倍（これも女性が大部分）になります。また「人生」の相談は70歳代と60歳代それぞれ5.0倍戸3.9倍、「家族」相談は4.0倍戸8.7倍です。高齢者の生きにくい世の中ということが、このようなところに如実に現れているのです。ちょっと以外なのは20歳代の「医療」の項目で、5年間で2.6倍になっています。30歳代も同期間で1.9倍ですから、かなり高率です（こちらは男性が2.6倍と急増しています。女性は1.4倍）。これは具体的な相談内容を見れば何か問題点が見えてくるかもしれませんが、今回はそこまでの検討ができませんでした。

以上、特徴的な点をいくつか拾い出してみました。これらの諸現象とくに急激に増加している各項目を見ると、「いのちの電話」の役割がこれから益々重要になることが考えられます。皆様のご努力とご支援を、なお一層お願い致します。

### ◎ 17年間の受信件数の推移

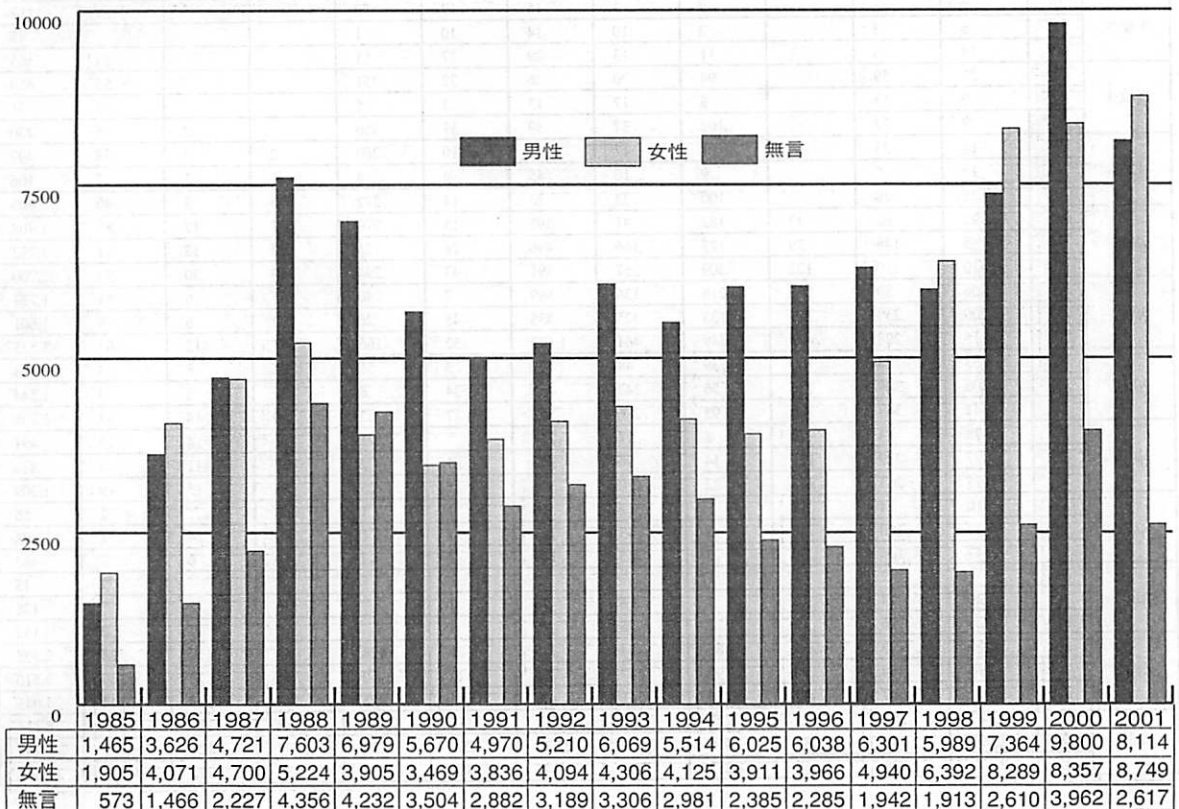
(1985年7月～2001年12月)

○ 1985年からの総受信件数は、232,127件で、相談員との会話がなかった無言電話46,430件を除くと、相談電話の受信数は185,697件となります。

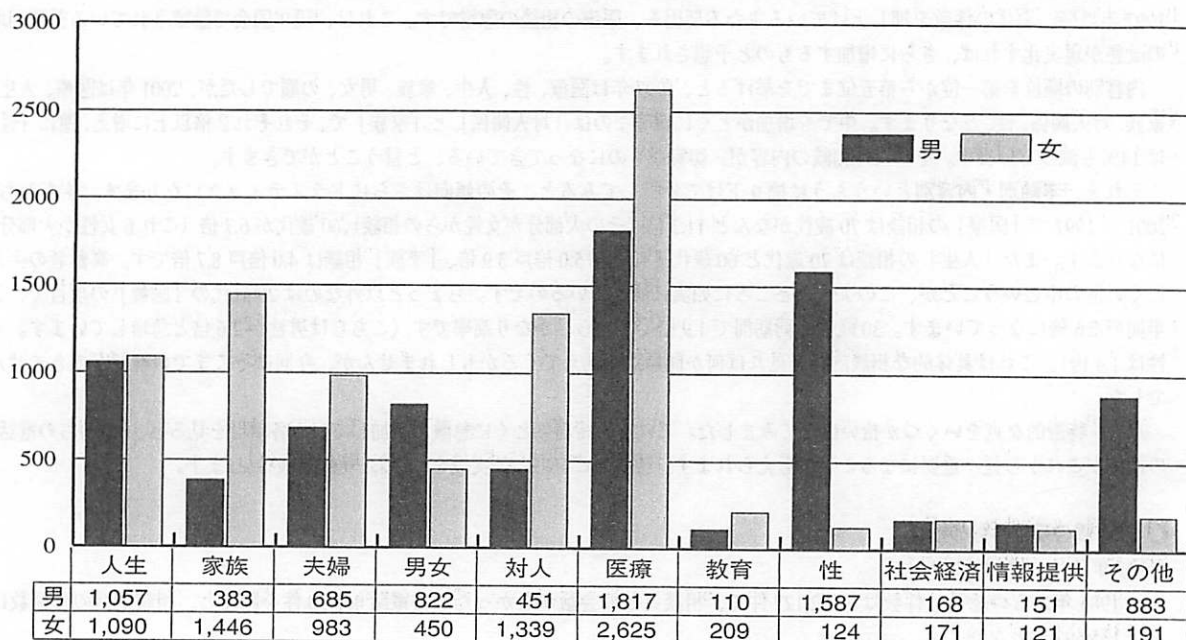
○ 2001年は1日当たり、46.8件の電話相談を受信しています。

(2001年12月1日から7日は、厚生労働省の自殺予防のフリーダイヤル・キャンペーンがあり、288件受信していますが、統計には加えてはなりません。)

### 17年間の受信者件数・推移



## 相談内容男女別の相談件数（2001年1月～12月）



## 2001年度統計（1月～12月）

		人生	家族	夫婦	男女	対人	医療	教育	性	法律経済	情報提供	その他	総計
小学生	男	2					1	3	1			2	9
	女	3	2			1	2	4	1				13
	計	5	2			1	3	7	2			2	22
中学生	男	6	3		9	3	15	17	50			14	117
	女	8	3		2	10	14	10	1				48
	計	14	6		11	13	29	27	51			14	165
高校生	男	20	59		94	20	26	32	351		2	55	659
	女	9	13		8	17	13	5	5			1	71
	計	29	72		102	37	39	37	356		2	56	730
以外	男	14	23		91	17	31	10	269	2	2	38	497
	女	15	5		9	16	45	4	8	1	1	2	106
	計	29	28		100	33	76	14	277	3	3	40	603
20代	男	222	62	43	182	91	395	15	270	28	17	83	1,408
	女	188	148	79	127	166	496	28	24	12	13	11	1,292
	計	410	210	122	309	257	891	43	294	40	30	94	2,700
30代	男	306	39	206	216	136	589	7	140	35	6	54	1,734
	女	209	259	229	133	325	538	45	26	22	6	9	1,801
	計	515	298	435	349	461	1,127	52	166	57	12	63	3,535
40代	男	133	34	100	39	44	122	3	56	21	8	34	594
	女	208	309	220	56	242	431	34	6	29	6	3	1,544
	計	341	343	320	95	286	553	37	62	50	14	37	2,138
50代	男	78	34	72	8	14	234		21	11	4	15	491
	女	97	229	171	14	96	162	5	2	27	11	4	818
	計	175	263	243	22	110	396	5	23	38	15	19	1,309
60代	男	10	4	12		2	16	1	1	5	2	2	55
	女	37	100	76	3	43	133	1	1	9	4	1	408
	計	47	104	88	3	45	149	2	2	14	6	3	463
70代	男		2	1			3			7		2	15
	女	20	14	12	1	6	76	1		6	2		138
	計	20	16	13	1	6	79	1		13	2	2	153
不明	男	266	123	251	183	124	385	22	428	59	110	584	2,535
	女	296	364	196	97	417	715	72	50	65	78	160	2,510
	計	562	487	447	280	541	1,100	94	478	124	188	744	5,045
総計	男	1,057	383	685	822	451	1,817	110	1,587	168	151	883	8,114
	女	1,090	1,446	983	450	1,339	2,625	209	124	171	121	191	8,749
	計	2,147	1,829	1,668	1,272	1,790	4,442	319	1,711	339	272	1,074	16,863

## 大成功の馬頭琴コンサート

名古屋いのちの電話チャリティ・コンサートが5月28日に、名古屋栄の名古屋中央教会で開かれました。昨年暮れに開催したチャリティ・コンサートに続いて、モンゴルの人、リポーさんが再び、愛用の馬頭琴を縦横に奏でての演奏会でした。それも「スーホの白い馬」の朗読と伴奏という趣向を凝らし、またギターとの合奏で、民謡、クラシック音楽を演奏するという珍しい音楽会となりました。大成功でした。

このコンサートは、広報委員長の長井潤さんが企画を立て、広報委員の安藤和彦さんが元の勤務先である中部日本放送に相談され、アナウンサーの渡辺美香さんに朗読を引き受けていただいて実現したものです。

リポーさんは日本に来られて10年といえます。少しアクセントに違和感はあるけれども、立派な日本語で一曲一曲解説をつけながらの熱演でした。モンゴル民族といっても、今はモンゴル共和国と、中国の内モンゴル自治区に分かれて暮らしています。リポーさんは内モンゴル自治区の首都、フホトの出身です。演奏は「ジンギスカン賛歌」で始



まりました。悲しくも迫力のある、それでいて繊細なメロディに心が広がります。

「スーホの白い馬」の朗読は、実に丁寧で感情の起伏が豊かに出ていて、モンゴルの草原に自分が立っているような錯覚を覚えました。日本の小学二年生の教科書に入っているということです。こうした民族の話は民衆の価値観を理解するのに大変有効だと、思いました。

馬頭琴とギターの合奏は秀逸でした。長井さんはいままでにはフラメンコ・ギターのコンサートなどを開いて、いのちの電話のために活動を続けていらっしやいます。この人なくして「いのちの電話」のチャリティ・コンサートもありません。フリー・マーケット活動もそうです。彼の多彩な才能に脱帽です。

この夜、さわやかな風が栄に吹いていました。名古屋中央教会のご厚意に深く感謝するとともに、コンサート会場に足を運ばれたおよそ200人の皆さま方に対して心から敬意を表します。こうした地道な活動を支援して下さる方々の力で、「いのちの電話」が維持、運営されているのです。私たちがさらなる努力をし、足らざるを補う「支え合い」の精神を発揮して、世間の期待に応えねばという思いをめぐらしたコンサートでもありました。

(評議員・財務委員長) 西沢信正

## ご援助ありがとうございます

2002年1月より5月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
理事長 長岡 利貞  
財務委員会

### 賛助会員 A

佐藤川原 安山田上澤田福小川 小石北富中前田會福小	藤川原 安山田上澤田福小川 小石北富中前田會福小	子双々 浩子子 和昭蔵三男 子双々 浩子子 和昭蔵三男	笠田長志長前大中田植浜 笠田長志長前大中田植浜	井中井村岡田矢村畑松下 井中井村岡田矢村畑松下	康健次 豊和か洋従訓 康健次 豊和か洋従訓	助郎潤恵稔子徳代子爾子 助郎潤恵稔子徳代子爾子	石榎井梨永枋坂小岡中小 石榎井梨永枋坂小岡中小	嶋本坂本井保浦原田野林 嶋本坂本井保浦原田野林	和美矢 輝覚男子子 和美矢 輝覚男子子	代江子代子子輝覚男子子 代江子代子子輝覚男子子	和久津將洋滯正 庸廣弘 和久津將洋滯正 庸廣弘	落小專伊大豊井鳥長鈴金城 落小專伊大豊井鳥長鈴金城	合山 藤野田上井川本 合山 藤野田上井川本	享 美義彬直 倭保福 享 美義彬直 倭保福	子勇寺子彦子子寛子子 子勇寺子彦子子寛子子	服川岩戸田笠大梶大 服川岩戸田笠大梶大	部上城田中原島原村 部上城田中原島原村	武厚正安良 恭 裕 武厚正安良 恭 裕	雄成光士子嘉子寿子 雄成光士子嘉子寿子
------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

### 賛助会員 B

高三柏吉入安富西小小竹鎌榎田 高三柏吉入安富西小小竹鎌榎田	橋澤谷岡谷藤永村谷嶋村手戸内 橋澤谷岡谷藤永村谷嶋村手戸内	青靖靖満智 和良良充洋絹敬佳 青靖靖満智 和良良充洋絹敬佳	小橋浜島塩松生加鈴溝橋加諏梶 小橋浜島塩松生加鈴溝橋加諏梶	出本本田田隅田藤木口本藤訪原 出本本田田隅田藤木口本藤訪原	正孔孝吉 あ純幸修知良雄昭久 正孔孝吉 あ純幸修知良雄昭久	彦夫子枝保子子雄子子男一子江 彦夫子枝保子子雄子子男一子江	相森岡桜今佐肥石戸上岩中浅鎌 相森岡桜今佐肥石戸上岩中浅鎌	川川本井井竹田田田野田田井田 川川本井井竹田田田野田田井田	久信博淳謙一幸朗伊美百榮き蓉 久信博淳謙一幸朗伊美百榮き蓉	幸子子子吾予子子助子子二子子 幸子子子吾予子子助子子二子子	齊西森服松片近下宮武小常石山 齊西森服松片近下宮武小常石山	藤川 部岡山藤村内藤沢富垣本 藤川 部岡山藤村内藤沢富垣本	延珪映啓朱主直明英尋ま佳栄富美 延珪映啓朱主直明英尋ま佳栄富美	枝子子子美水枝子子夫子子子三子 枝子子子美水枝子子夫子子子三子	吉永舟入石坂長平小伊児鏡寺大 吉永舟入石坂長平小伊児鏡寺大	田田橋谷川戸川田沢藤玉味西島 田田橋谷川戸川田沢藤玉味西島	愛美登いナ摠淳秀た孝孝光康佐し 愛美登いナ摠淳秀た孝孝光康佐し	子子美ミ輔夫子子子一雄雄代代 子子美ミ輔夫子子子一雄雄代代
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	----------------------------------

## 点 滴

名古屋いのちの電話が眠らぬダイヤル 24 時に移行して 3 年になります。

いのちの電話には、現在相談員の在籍が 200 人くらいです。その中で担当に入っている人たちが 140 人そこそこです。

相談員は深夜帯 (22:00 ~ 8:00) を含めて月 3 回の担当を義務づけられています。月 3 回を守っている相談員が何%なのか、深夜帯に入る相談員が少ないのが悩みの種です。

いのちの電話は今年 7 月で 17 年になります。いのちの電話の趣旨を生かし、その業務を円滑に進めるために、手引き書を手元に置き折々みながら良き相談員を目指しています。相談員は担当表にそれぞれが記入します。担当表を貼りだし、その担当表が全部うめられるのに時間がかかります。担当表の記入方法も何度か変わりました。その都度、係りが寄って話し合ってたまた別の方法で進めてみる。こんなことを何回も繰り返しました。

現在は 3ヶ月前に白紙 (拡大したもの) を貼りだし、後一ヶ月の時に大きかった表を普通サイズにして、貼りだし、一ヶ月かけて、できるだけ穴あきがないようにいたします。

でもまだ完全とは言えませんので、これからも試行錯誤して、よりよい担当表を作るように努力していきます。

O.T.

橋 本 孔 夫 水 谷 真 桜 井 房 博 神 田 輝 夫 平 尾 泉

賛助員 C 子己衛子稔を子枝子典江子子子夫雄子子  
陸克近眞 智代智 喜三文芳温よし倭敏次い律  
村津藤川野森田村井出 藤野岡村口田川  
松大近小浅金石花中小林須平片三樋多和早

寄付金 男子会院一彦紀一惺子子俊ツ子正子子嘉子郎  
敏智教修純智真忠 美郁正七和信夕純 スエ治  
田田路聖村田林藤田屋田田 川沢下野原田藤  
吉太広金沢野兼桐後松土吉向原生西山佐笠西佐  
口ゼの会

学校法人金城学院 日本基督教団名古屋教会  
カトリック南山教会 日本基督教団名古屋教会  
カトリック南山教会 日本基督教団名古屋教会

クリスマス歳末募金 富江真佐美 山崎京子 中谷塩子 岡本博子 浦下桂子  
松百代子 日本キリスト教団豊田教会 カトリック半田教会 日本キリスト教団愛知守山教会  
日本福音ルーテル教会希望教会 カトリック南山教会 日本キリスト教団中央教会  
日本聖公会名古屋ステパノ教会 日本基督教団名古屋中央教会 日本キリスト教団愛知教会女性の会

〈会費〉

水谷 巍

賛助寄付

トヨタ自動車(株)	(株)オチアイネクス	東海銀行	大橋鉄工(株)	名古屋鉄道株式会社
新明工業(株)	豊田工機株式会社	杉山工業(株)	(株)松坂屋	社団法人名古屋中村法人会
(株)三愛	トヨタL&F中部(株)	矢作建設工業(株)	(株)東郷製作所	(株)両口屋是清
(株)オティックス	(株)岡田パテントサービス	万能工業(株)	名古屋トヨペット(株)	(株)青山製作所
(株)みどり造園	東邦ガス(株)	(株)杉浦製作所	トヨタ車体(株)	(株)三秀プレシジョン
財団法人後藤報恩会	武田機工(株)	豊田ボランティア協会	(株)陣内工業所	ホーユ一(株)
敷島製パン(株)	(株)芝岡製作所	大島造園土木(株)	豊田合成(株)	名東歯車(株)
瀧定名古屋(株)	フルエリング株式会社			

助成金

東海テレビ福祉文化事業団

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員 (年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
 口座番号 UFJ 銀行大津町支店 (普) 477029  
 郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

— 編集後記 —

名古屋いのちの電話の機関誌を手にしたとき、表紙の写真をみるといつもながら心が和む。子どもたちの屈託のない生き生きとした表情、トンボやペンギンなど生き物たちが奏でる一瞬のきらめきなど、簡素な構図のなかに切りとられた被写体は無言のメッセージを放つ。地球家族を見つめる写真家の眼差しは、どこまでも謙虚で優しい。そして、下段の詩と共鳴するとき、生命の躍動を伝える見事なハーモニーを奏でるのだ。

毎号新鮮な感動を届けてくださるのが、いまは大阪にお住まいの写真家、文珠幹夫さんである。機関誌の第2号から表紙を飾って頂いて既に18年余り、枚数にして実に50枚を超す。その集積は名古屋いのちの電話の歴史そのものと言えよう。今号には、ボランティアとして関わる東ティモールを頻繁に行き来する多忙な文珠さんに、特にお願いして原稿をお寄せ頂いた。名古屋いのちの電話が始まった頃のいくつかのエピソードも紹介されていて、思い出を新たにされる方々も多いことだろう。

ここにも私たちの活動を支えてくださる人がいる。深い感謝の気持ちを表さずにはいられない。次号の写真が今から楽しみである。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
 名古屋いのちの電話

2002年夏

〒461-8691	名古屋東郵便局	私書箱第257号	2002年7月1日発行
事務局 ☎	052-971-5181	郵便振替口座 00810-8-53758	発行人 長岡 利貞
相談電話 ☎	052-971-4343	UFJ 銀行大津町支店 (普) 477029	編集人 広報委員会
携帯相談電話	NTT ドコモ東海「# 9556」		